

平成30年度進行管理・評価シート
鶴岡市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）
（最終変更平成30年3月15日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の円滑な推進	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 市指定有形文化財大宝館整備事業	3
2 鶴岡公園園内整備事業	4
3 鶴岡公園内堀周辺道路修景事業	5
4 散策・休憩施設整備事業	6
5 門前町歴史まちづくり活動支援事業	7
6 宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業	8
7 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業	9
8 松ヶ岡振興支援事業	10
9 史跡内及び周辺修景整備事業	11
10 蚕室群活用整備事業	12
11 シルクタウンプロジェクト推進事業	13
12 民俗芸能保存伝承支援事業	14
13 歴史的建造物等保存対策調査事業	15
14 歴史まちづくり人材育成事業	16
15 鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業	17
16 歴史的風致形成建造物保存活用整備補助事業	18
17 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災施設等整備事業	19
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	20
2 文化財の修理、周辺環境の整備、防災事業	21
3 文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 国宝羽黒山五重塔内部を一般公開 出羽三山神社 他27件	23
⑥その他(様式1-6)		
1 歴史的風致維持向上計画事業実施の効果	24
2 歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応	25

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	26
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
計画の円滑な推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- 計画の進捗管理・評価、計画推進に係る事項・計画変更の協議は鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会を中心に行う。
- 建設部都市計画課、教育委員会社会教育課、羽黒庁舎総務企画課及び企画部政策企画課を事務局とし、連絡調整を行い計画の円滑な推進に努める。
- 必要に応じて鶴岡市文化財保護審議会及び鶴岡市景観審議会などに計画の実施状況を報告し意見を求める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域が3地区(鶴岡公園とその周辺地区、羽黒手向地区、羽黒松ヶ岡地区)ある本市では、それぞれの地域において整備や振興を支援する担当課(鶴岡公園とその周辺地区:建設部都市計画課、羽黒手向地区:羽黒庁舎総務企画課、羽黒松ヶ岡地区:企画部政策企画課)と文化財事業を所管する教育委員会社会教育課が連携し、3地区で持ち回りのシンポジウムの開催を行うなど計画の進行管理と歴史的まちづくりを通じた本市の魅力増進につとめている。連携に基づく会議等の開催は、平成31年1月31日に副市長をトップとする庁内関係部課長による庁内策定会議、同2月18日には鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(法定協議会)を開催しているほか、都度事務担当者の打合せを実施しながら計画の円滑な進行管理を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

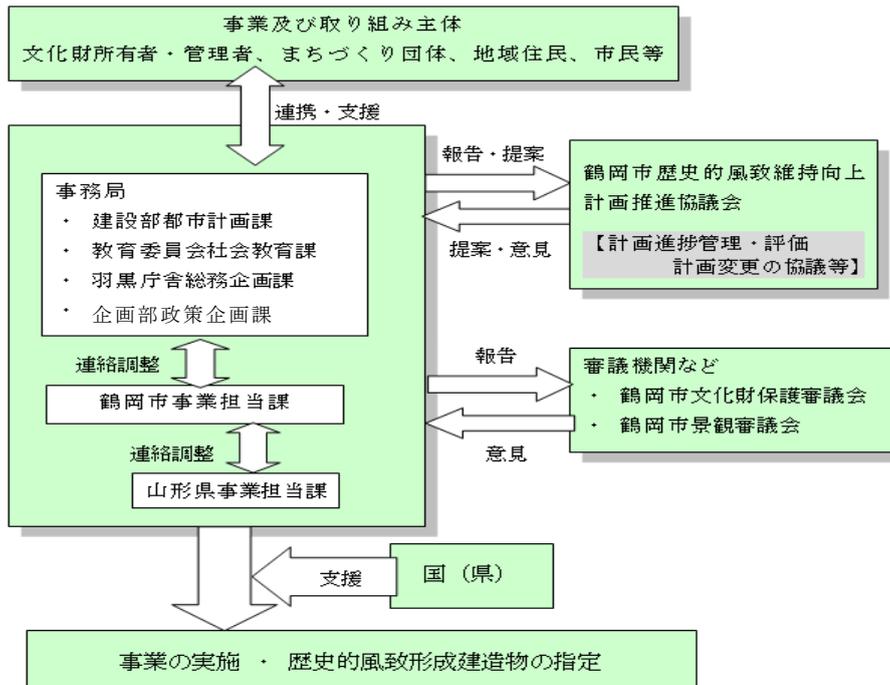
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 平成30年度庁内策定会議(平成31年1月31日)
- ①平成30年度の事業報告について
 - ②平成31年度事業計画について
 - ③歴史的風致維持向上計画の変更について

- 平成30年度鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(平成31年2月18日)
- ①平成30年度の事業報告について
 - ②平成31年度事業計画について
 - ③歴史的風致維持向上計画の変更について



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 ○景観計画地域別方針との適合
 ○大規模建築物等の景観に関する制限

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成20年5月に策定した「鶴岡市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を実施した。
 ・平成30年度には、景観計画区域内における大規模建築行為について市全域で46件(平成30年12月28日現在)の届出を受付、良好な景観形成のために意匠や色彩に関する指導を実施した。
 ・その内重点区域内の届出は2件であり、重点地区内の良好な景観形成に資するものとなった。
 ・事業者が風力発電施設を建設する際の指針を制定し、これに沿って設置計画を進めることで良好な景観の形成を促進することを目的として、鶴岡市風力発電施設の建設等に関する景観形成ガイドラインを策定した。(予定)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

平成30年度における大規模建築物の届出

景観計画区域内における行為の届出

届出件数 46件(平成30年12月28日現在)

届出行為地域別内訳 鶴岡27件、藤島4件、羽黒3件、櫛引5件、朝日3件、温海4件

届出対象物内訳 建築物30件、工作物14件、両方2件

内、重点地区内の届出については以下のとおり。

- ① 鶴岡公園とその周辺地区:鶴岡市本町一丁目地内 建築物の新築 本町一丁目アパート(仮称)
- ② 鶴岡公園とその周辺地区:鶴岡市馬場町地内 建築物・工作物の新築 鶴岡第2合同庁舎

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
市指定有形文化財大宝館整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 市指定有形文化財大宝館の修繕として、外壁塗装・木製建具改修・瓦屋根全面改修・ドーム補修及び塗装を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大宝館は大正4年に創建され築100年を経過しているため、経年劣化による破損等が多く確認されることから、平成29年度に実施設計を行い、平成30年度に整備工事着手し、雨漏りの解消、内外壁の塗装、腐食部材の交換を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



屋根ドーム 作業前



屋根ドーム 作業中



外壁 作業前



外壁 作業中

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
鶴岡公園園内整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度 ~ 平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 鶴岡公園整備基本計画に基づいた北ブロック(歴史文化ゾーン)整備計画書に基づいた事業を実施する。園路・参道・公園入り口の整備(舗装化、石貼りなどユニバーサルデザイン化)、城址公園内トイレ改修工事、禽舎正面広場の整備および老木樹木の再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成29年度に策定した正面広場基本計画に基づいて整備する正面広場の実施設計の策定資料とするため、測量を実施した。(A=4,700㎡)
 ・老木化している桜等の樹木更新計画を策定する資料とするため、桜の配置や樹種、大きさ、樹勢、病害虫等の状況について樹木調査を行った。(桜:522本)
 ・鶴岡公園整備基本計画に基づき、水質が悪化しアオコの発生など公園景観の悪化の元となっている内堀について水質浄化のための設備配置検討を行い、浄化施設設置工事を実施した。(予定)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

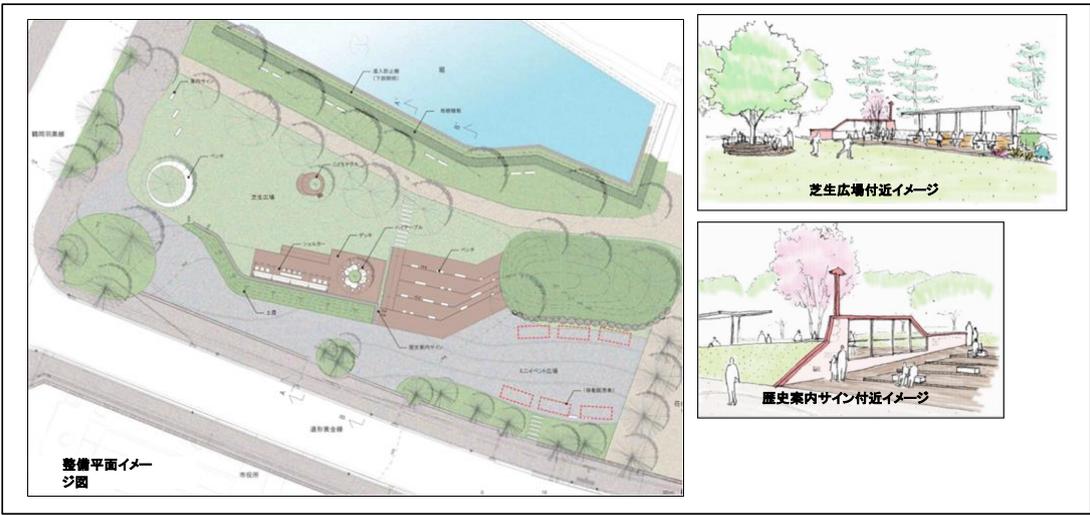
状況を示す写真や資料等



樹木調査状況



内堀アオコ発生状況



正面広場基本計画図

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
鶴岡公園内堀周辺道路修景事業 (市道鶴岡公園新形町線歩行者空間整備事業) 【鶴岡公園とその周辺地区】			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度 ~ 平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 ワークショップや関係団体等との意見交換を実施し、鶴ヶ岡城の内堀周辺道路である市道鶴岡公園新形町線の修景整備について、整備のあり方を検討する。検討内容を踏まえた修景整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は、平成29年度に開催した鶴岡公園環境整備懇談会、まちづくりワークショップにおいてまとめた鶴岡公園周辺道路の整備方針・デザイン方針に基づき、道路修景整備のための実施設計を行い、併せて歩行空間創出に向けた既存電力柱の無電柱化手法検討のための電線管理者との打合せ会を行った。

- (平成29年度)
- 鶴岡公園周辺道路基本計画策定に係る検討
- ・第1回鶴岡公園環境整備懇談会(平成29年8月3日)
通りを歩いてのフィールドワークや、課題やあり方などについてグループ討議を行った。
 - ・まちづくりワークショップ(平成29年10月28日)
正面広場、周辺道路についての計画案を提示し、市民意見を収集した。
 - ・第2回鶴岡公園環境整備懇談会(平成30年2月7日)
懇談会において周辺道路基本計画案を諮り承認いただいた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】

- 鶴岡公園内堀周辺道路修景整備に係る実施設計
- 歩行空間創出に向けた電線管理者との打合せ会(11月27日)



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
散策・休憩施設整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】、【羽黒手向地区】、【羽黒松ヶ岡地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度 ～ 平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致を形成する建造物や人々の活動、それらをつなぐルート上に、歴史資源情報や歴史まちづくりに関する情報、地元食材を使用した軽食等の提供が可能な休憩スペースの整備、歴史的景観に配慮した案内板・説明板設置について、関係団体等と連携し検討、整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

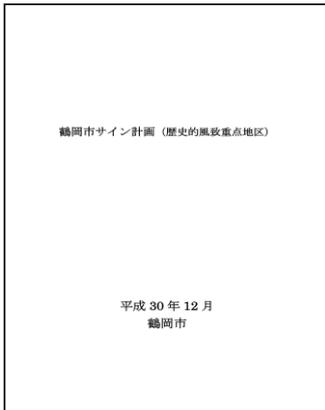
案内サイン整備事業

来訪者の観光地周遊の促進を図るため、重点三地区を中心に案内サイン整備を実施するもので、平成30年度は、重点三地区の関係団体等との意見交換会を行い、地区別の配置方針やデザイン等を定めた「鶴岡市サイン計画(歴史的風致重点地区)」を策定し、羽黒手向地区を中心に、誘導サイン11箇所、総合案内サイン3箇所の整備を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



サイン計画



案内サイン(羽黒手向地区)



サイン計画推進会議
平成30年10月18日(木)

部門別意見交換会
 鶴岡公園周辺地区: 平成30年7月31日(火)
 羽黒手向地区: 平成30年8月8日(水)
 羽黒松ヶ岡地区: 平成30年7月26日(木)
 8月1日(水)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
<p>門前町歴史まちづくり活動支援事業 【羽黒手向地区】</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 地域の住民や団体等で構成する協議会が主体となって行うまちづくり協議やまちあるきマップの作成、住民合意形成のためのワークショップ、シンポジウム開催等の活動を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①地元団体や住民から構成されている「出羽三山魅力発信協議会」を開催した。(1回開催)
- ②地域住民ボランティアによる歴史的景観整備を実施した。③歴史的景観ガイドの育成講座を行った。
- ④歴史的風致を活用したまちづくりビジョン策定に対する支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

1. 出羽三山魅力発信協議会事業

①出羽三山魅力発信協議会の開催

門前町手向地区の各種歴史まちづくり活動について地域住民の理解を深めるとともに、講師を招いた手向地区の振興に関する講演会を行い、さらなる意識の向上を図った。

- 期 日 平成31年2月26日(火)
- 場 所 手向地区地域活動センター ・参加者 50名
- 内 容 「わたしが手向に住みたい理由」
講師 三浦 友加 氏(料理研究家、タレント)
「海外からみた、出羽三山の魅力」
講師 ミヨ・サラ 氏(鶴岡市国際交流員)



ちょっと一息まちあるきベンチの制作

②景観整備活動「ちょっと一息まちあるきベンチの制作」

- 期 日 平成30年8月5日(日)
- 場 所 手向地区地域活動センター ・参加者 15名
- 内 容 住民ボランティアが、まちあるきの際に使用するベンチを制作。

③歴史的景観ガイド育成講座

手向地区の歴史や文化、まちなみ等の魅力をPRする人材育成を目的に、門前町手向地区の歴史的風致をはじめ、景観に関する研修会等を実施。

- 期日・内容
- 1回目 平成30年9月4日(火)
「鶴岡市歴史的風致維持向上計画、羽黒手向地区景観整備」
- 2回目 平成30年9月18日(火)
現地研修「池の仲集落 自坊小路周辺まちあるき」
- 3回目 平成30年10月2日(火)
「外から見る手向宿坊街の魅力」
講師 水井 克 氏 (株式会社 山形アドビューロ)
- 参加者 地区住民・観光ガイド等 18名



歴史的景観ガイド育成講座・現地研修

④門前町手向地区歴史的自坊小路ウォークラリースタンプ制作

平成31年度に実施予定の手向古道・自坊小路周辺のウォークラリーイベントに使用するスタンプを製作。

2. 門前町手向地区地域活力創出ビジョン策定支援事業

地区住民が主体となり、手向地区の現状や課題等を整理し、これから取り組むべきことや、歴史的風致を活用した事業展開などについて話し合いながら、まちづくりビジョン(未来像)の策定を目指す取組みに対して支援した。参加者は、地区固有の歴史的風致の維持・保全や、それらを活かしたまちづくりの必要性を再確認しながら、ビジョン作りに取り組んだ。今年度に骨子を作成し、来年度のビジョン完成を目指している。

- 期 日 平成30年10月20日(土)・11月10日(土)・12月15日(土)
平成30年1月・2月開催 計5回
- 参加者 80名



ビジョン策定ワークショップの開催

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 宿坊街における沿道部分の外構空間等は歴史的風致の保全に重要な景観形成要素である。修景を行うことで統一感のある良好な景観が形成され歴史的風致の維持及び向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用し7件の修景整備が行われた。(平成29年度は6件整備)
- ②上記補助金の審査・相談機関「手向まちなみ委員会」を開催し、審査検討会を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

1. 「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用した修景整備

門前町手向地区固有の歴史あるまちなみ保全を目的に、道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構など、宿坊街の佇まいを感じさせる特徴的な構造物について、統一感のある修景整備を行う住民に対して、費用の一部を補助した。

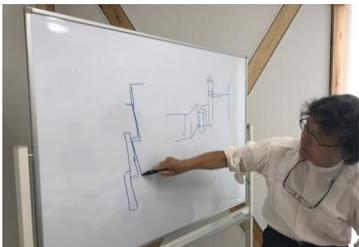
- 入江町集落 2件(住宅2件)…住居・車庫の外観整備及び模様替え
- 桜小路集落 4件(宿坊2件、住宅2件)…車庫外観整備及び模様替え、宿坊看板等設置替え、茅葺屋根葺き替え
- 上長屋集落 1件(店舗1件)…店舗外観整備及び模様替え



2. 「手向まちなみ委員会」の開催

- 期 日 平成30年7月24日(火)
- 10月16日(火)
- 12月25日(火)

○内 容 申請内容等の審査・検討



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成10年度～平成34年度

支援事業名 歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 「史跡松ヶ岡開墾場保存管理計画策定報告」に基づき、平成10年度から年次的に行っている蚕室等保存修理の継続と防災設備設置工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成10年度から史跡内建造物の保存修理工事を実施している。平成30年度は4番蚕室の三階屋根根椽瓦葺を一旦解体して野地の補修を行い、各瓦材は当初の形式に倣って瓦の葺き替えを行った。二階屋根は軒・平瓦の割れを新規瓦に取替、葺き足の乱れている箇所を修正した。あわせて、腐朽が進行していた正面軒先野地(広小舞・野地板・垂木)の一部の部材を旧来の同材種、同工法にて取替えた。また、屋根葺き後に三階屋根上の棟瓦に棟上銅帯式の避雷設備を設けた。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡内建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、国庫補助金が要望どおり交付にならないため計画が遅れている。引き続き国庫補助事業による実施を求めていく。

状況を示す写真や資料等



4番蚕室背面(施工前)



4番蚕室三階屋根椽背面(施工前)



4番蚕室背側面(工事中)



4番蚕室三階屋根椽瓦葺き(工事中)



4番蚕室背面(竣工)



4番蚕室三階屋根椽瓦葺き
避雷設備設置(竣工)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
松ヶ岡振興支援事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松ヶ岡地域では明治初期に行われた開墾当時の形態を継続し、施設や開墾当初の趣旨目的、実践の多くの部分が今も守られている。これらを背景としたビジョンを策定し、将来的にソフト活用と連動して史跡内建造物を有効活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松ヶ岡住民及び事業者が中心となって策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」(計画期間平成26年度～33年度)などの具体的なソフト事業として、桜まつり、お茶づくりをはじめとした各種体験事業、秋の収穫感謝祭、雪まつりなどの四季を通じたイベントを実施し、魅力の発信に取り組んだ。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○イベントの開催

オーガニックマルシェ(平成30年4月21日)、松ヶ岡桜まつり(平成30年4月21日～22日)、梅酒づくり体験(平成30年6月17日)、茶摘み体験(平成30年7月21日)、紅茶づくり体験(平成30年7月22日)、じぐちあんどん夏祭り(平成30年8月4日～5日)、松ヶ岡秋の収穫祭・オーガニックマルシェ(平成30年10月28日)、松ヶ岡2019雪まつりweek(平成31年2月9日～11日、16日～17日)、大蚕室ライトアップ&カフェ(平成31年2月9日～11日、16日～17日)、松ヶ岡焼きで楽しむ新酒を味わう会(平成31年2月16日)



オーガニックマルシェ



松ヶ岡桜まつり



梅酒づくり体験



茶摘み体験



じぐちあんどん夏祭り



秋の収穫祭



松ヶ岡2019雪まつりweek
(こどもまつり)



新酒を楽しむ会



大蚕室ライトアップ

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
史跡内及び周辺修景整備事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度 ～ 平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 史跡中央を東西に通る道路については、明治初期の時代背景にあった構造とし、寸法や路盤の材料を検討し整備する。また、史跡内への車の進入を禁止するための副道や駐車場を整備する。
 史跡内の景観形成に有効な役割を果たしている桜や松等の立木について、樹木・樹種を選定し保存・整備する。
 歴史的景観に配慮した看板・誘導案内板、エリアの散策途中での休憩や各種催事のための多目的広場、トイレ等を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・これまで一体だった歩行者空間と車道を分離することにより来場者の安全な周遊に配慮するとともに蚕室群の歴史的な建物に調和した景観の形成を行うため通路整備を行った。(史跡内:洗出しコンクリート舗装L=153.5m、史跡外:自然石貼り舗装L=89.2m)
 ・利用者の利便性と景観の向上を図るため駐車場(普通車37台・軽自動車17台・身障者1台)の整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



通路部(着工前)



通路部(完成)



駐車場部(着工前)



駐車場部(完成)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
蚕室群活用整備事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～平成34年度		
支援事業名	市単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	松ヶ岡開墾場を歴史的資料や財産として保存するだけでなく、価値を高めるために蚕室を講演会や展示会等を開催する施設として年間を通じ活用し、良好な状態で保存されることで、文化的価値の継承につなげる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度に史跡内建造物の確実な保存・伝承のために史跡の一部財産を取得し、29年度から2番蚕室を休憩所や飲食提供、鶴岡シルクの展示販売などの活用を進め誘客を図った。また、松ヶ岡開墾場の本質的な価値とそれを構成する要素を明らかにし、価値・要素を適切に保存管理する方針と取扱い基準を定めるとともに、今後の各種活用整備の推進のため「史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画」の策定のため、策定委員会を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
史跡松ヶ岡開墾場大蚕室群の取得		保存活用策定委員会 (平成30年8月20日)	
			
二番蚕室のイベント活用 収穫感謝祭(平成30年10月30日)			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
シルクタウン・プロジェクト推進事業 【全市域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 国内唯一の絹の地域内一貫生産がある地域において、絹産業や絹文化の歴史を発信することにより、文化的価値の継承につながり歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の近代化の礎となった絹産業の文化を保存継承しながら、新たな産業振興と絹文化の創造・発展を目指すため、産業面と文化面から振興策に取り組み、「ものづくり」「ひとづくり」「普及啓発」の3つの柱で事業を展開した。
 ○普及啓発…市民による蚕飼育体験、シルクガールズプロジェクト支援
 ○ものづくり…キビソ等鶴岡シルクのブランド化・販売促進(鶴岡織物産地振興事業)
 ○ひとづくり…養蚕復興(養蚕環境整備実証事業)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○市民による蚕飼育体験

幼・保育園、小学校などを中心に蚕の飼育体験を行い、地域の絹文化のPRをおこなった。
 ※30年度：6月～7月にかけて、38施設と14人の個人、松ヶ岡開墾場3番蚕室で合計2,000頭を飼育



各園・各校先生への春蚕飼育指導



各園・各校先生への配蚕



開墾場蚕室での蚕飼育

○シルクガールズプロジェクト支援事業

鶴岡の絹の歴史や産業を学び、鶴岡シルクを素材としたドレスの製作・発表や学習発表を通して、鶴岡のシルクの魅力発信に取り組んでいる、鶴岡中央高校シルクガールズプロジェクトに対して支援するとともに、連携して各種事業に取り組んだ。

※シルクツアー…同プロジェクトの新しい可能性につなげるため、鶴岡シルク関連企業で視察し職業体験を行った。

※ファッションショー…鶴岡大産業まつり、シルクガールズコレクションにおいてシルクガールズの取組(ドレス発表等)をPRした。



シルクツアー(平成30年9月28日)



大産業まつり(平成30年10月13日)



コレクション(平成30年11月23日)

○ものづくり…キビソ等鶴岡シルクのブランド化・販売促進(鶴岡織物産地振興事業)

- ・産地高度化事業:他繊維産地や高度な技術連携による鶴岡シルク、kibiso商品の開発と松ヶ岡開墾場でのPR
- ・ブランド化事業:海外展開を視野に入れた商品開発、海外マーケティングや「侍絹」ブランド構築
- ・販売促進事業:海外での企画展示、首都圏・市内観光施設・温泉旅館での催事販売

○ひとづくり…養蚕復興(養蚕環境整備実証事業)

- ・閉校の校舎を活用し養蚕環境の整備と人工飼料等による晩秋蚕飼育の実証

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
民俗芸能保存伝承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～平成34年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	無形民俗文化財民俗芸能に関する支援を実施する。 ・無形民俗文化財保存団体の活動助成及び継承に必要な衣装や道具の更新等に関する費用等の各種助成制度の情報提供など必要な支援を行う。 ・過去に作成した無形民俗文化財のアナログ記録映像のデジタル化と、未記録の無形民俗文化財について新たな記録保存を行う。 ・無形民俗文化財保存団体のネットワーク構築や発表機会創出等の検討及び開催支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・例年、藤島伝統芸能振興会、高寺八講保存会、町屋神楽保存会、黒川能保存会、山五十川古典芸能保存会、木野俣獅子踊り保存会、小国八幡宮弓射神事保存会に対し、補助金交付要綱に基づき補助対象経費の2分の1の額(上限額あり)を交付した。 ・市内の無形民俗文化財保存団体を対象に丸高文化財団等の情報提供を行った(平成27年度は6件、平成28年は7件、平成29年度は7件、平成30年度は1件申請)。 ・『民俗文化財保存伝承団体における活動の状況調査』を行い、現状の把握に努めた。 ・『民俗芸能保存団体情報交換会』を開催し、各団体がそれぞれの規模でどのような悩みを抱えているか把握し、相互交流を通して活動の存続と発展のための機会とした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
助成対象の「両所神社御獅子舞」		助成対象の「山五十川古典芸能保存会」	
			
平成30年度 民俗芸能保存団体情報交換会 (開催:12月18日 会場:荘銀タクト)		助成対象の「黒川能保存会」	

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物等保存対策調査事業 【鶴岡公園とその周辺地区・羽黒手向地区・羽黒松ヶ岡地区】		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 街なみ環境整備方針策定を想定した、重点区域内の歴史的建造物等の調査を実施し、分布状況や歴史的価値や課題等の実態をまとめ、現状の把握と支援策の検討等に活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は、既存不適格建築物となりえる歴史的的形成建造物(未指定)の大規模修繕・用途転用等について、課題整理を行い、適切な改修方法の把握のため、「歴史的建造物改修手法研究業務委託事業」を実施した。委託成果品である改修手法報告書については、歴史的建造物の利活用に対する支援策の検討等に活用される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

平成31年3月14日(木) 歴史的建造物改修手法報告書
 歴史的建造物改修手法研修会の様子

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況
歴史まちづくり人材育成事業 【鶴岡公園とその周辺地区・羽黒手向地区・羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業
社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の所有者・管理者、鶴岡市ガイドボランティア及び市民等を対象とした、文化財や歴史及び歴史的景観等とその活かし方等に関する学習機会を創出し実施する。
また、歴史的建造物の保全・活用推進を索引していく人材の発掘や育成、歴史的資源の利活用のマネジメントのための学習機会の創出等について関係者を交えた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【鶴岡公園とその周辺地区】 歴まちmeeting 日時 平成30年5月12日(土)
平成26年度にワークショップに参加した市民が中心となり、歴史的建造物の存在を広く市民に周知し、保存と活用を考えるイベントとしてこれまでに計3回実施。今年度は「旧鶴岡ホテル」を会場として、館内の案内と藤の花を観賞しながらの昼食会を開催した。約30人が参加し、建造物の歴史や意匠を凝らした内部について説明を受けながら館内を回り、歴史的建造物の活用を考える機会の創出に繋がった。

【羽黒手向地区】 歴史的景観ガイド育成講座 日時 平成30年9月4日(火)、18日(火)、10月2日(火)
出羽三山魅力発信協議会・勝木正人氏による現地研修や、榊山形アドビューロ・水井克氏による外部からみる手向宿坊街の魅力に関する講義などを通じて、参加者は出羽三山を中心としたの門前町手向地区の歴史や文化、まちなみ等の魅力について再確認するとともに、来訪者等への魅力の伝え方について学んだ。

【羽黒松ヶ岡地区】 松ヶ岡本陣留守居役 配置期間 4月27日(金)～8月2日(木)、9月27日(木)
「本陣」の一般開放にあたり、5人の地元ボランティアが「留守居役」として説明等にあたり、歴史的建造物の理解促進につとめた。347人の来場者を迎えるなど歴史的建造物の公開を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【鶴岡公園とその周辺地区】



【羽黒手向地区】
講義「外から見る手向宿坊街の魅力」



【羽黒松ヶ岡地区】



【羽黒手向地区】
現地研修「池の仲集落 自坊小路周辺まちあるき」

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業 【鶴岡市内】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成34年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	鶴岡市の歴史まちづくりに関する講演とシンポジウム、重点区域のまち歩き等を組み合わせた事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>平成25年11月に「鶴岡市歴史的風致維持向上計画」が国の認定を受けたことを記念し、今後、市民と協同で歴史まちづくりを推進するため、3つの重点区域持ち回りで毎年シンポジウムを開催することとしている。</p> <p>30年度は平成31年3月26日(火)に、重点区域の羽黒松ヶ岡地区と日本遺産「サムライゆかりのシルク」に関わるシンポジウムを開催した。</p> <p>◆【テーマ】 松ヶ岡の魅力・可能性について 【講師等】 東北芸術工科大学学長 中山ダイスケ氏(日本遺産「サムライゆかりのシルク」アドバイザー) 【参加人数】 80人</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
第6回鶴岡市歴史まちづくりシンポジウムの様子			

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存活用整備補助事業 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度 ~ 平成34年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物について公開による保存活用を図るために所有者が行う外観修景、内装整備等の事業について補助を行う。		
<p>平成30年度は、幕末時の藩主の隠居所である御隠殿(1863年建築)の屋根・内装改修、避雷針設備・土蔵外壁修繕、電気工事について助成を行った。 当該建造物は、大名屋敷の広大な面影を偲ぶことができ、現在、歴史展示場として活用されている。今般の改修により、その保全が図られ、魅力ある観光資源として今後も多くの来訪者を迎えることが可能となった。</p>			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

補助事例

平成30年度: 御隠殿



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
重要文化財旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災施設等整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～平成30年度		
支援事業名	重要文化財(建造物・美術工芸品)修理、防災事業費国庫補助		
計画に記載している内容	経年劣化している消火設備の更新及び改修(一部新設)、自動火災報知設備の更新及び新設、避雷針設備の改修、監視設備の新設。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度はパンザマスト式避雷針設備の改修及び、自動火災報知設備の交換を実施した。 平成30年度はポンプ室建築工事、ポンプ設備、自動火災報知設備、監視設備工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



放水銃の設置(旧渋谷家住宅消火)



自動火災報知機総合盤の設置(管理棟)



ポンプ室建築工事



監視設備工事(監視機器の設置)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・未指定文化財について、必要に応じ調査を行い、市指定や国の登録制度を活用することを検討するなどし保存継承に努める。
- ・埋蔵文化財包蔵地については、現状把握及び適切な保護措置に取り組む。また、未発見の埋蔵文化財の保護のため、民間事業者の開発行為の事前把握に努め、必要に応じて試掘等確認調査を行うなど、開発事業と文化財保護の整合に努める。
- ・鶴岡市文化財保護審議会により、文化財の保存及び活用について教育委員会の諮問に応じ調査研究を行うなどし意見具申を行う。
- ・保存活用計画の未策定文化財については、文化財としての価値を毀損することのないように適切な保存と活用について検討する。

定性的・定量的評価(自由記述)※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成30年度「旧小池薬局恵比寿屋本店」が、国登録有形文化財に登録された。
- ・埋蔵文化財調査及び未指定文化財の現況調査を実施した。
- ・国指定史跡松ヶ岡開墾場については、事業所連絡会や地元説明会、策定委員会を開催し、史跡松ヶ岡開墾場の文化的価値を確認し、保存活用に向けての指針である計画書をまとめた。
- ・平成29年度名勝金峯山保存活用計画を策定し、今年度は関係者懇談会を開催し、所有者及び活動団体による活用計画や活動状況について情報共有を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- 埋葬文化財等文化財調査
 - ・現地踏査実施箇所 5ヶ所 「添川古墳」「新地遺跡」「新地A遺跡」等
 - ・立会調査実施箇所 5ヶ所 「藤島城跡」「史跡松ヶ岡開墾場」「田川館跡」「論田館跡」「高田B遺跡」
 - ・埋葬文化財包蔵地に係る事業照会(※12/10現在) 公共事業 5件、民間事業135件 合計140件
 - ・熊野長峰山中に存在する塚郡調査(5月18日)
- 文化財指定
 - ・文化財保護審議会 2回開催(8月10日開催、H31年3月開催予定)
 - ・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会 総会(6月11日、11月1日)
 - ・鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会 総会(5月23日)
- 計画策定等
 - ・史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画策定委員会 3回(8月20日、2月12日、3月15日)
 - ・史跡松ヶ岡開墾場事業所連絡会(毎月第一水曜日開催)
 - ・名勝金峯山関係者懇談会 5月23日開催



旧小池薬局恵比寿屋本店
(国登録有形文化財)



史跡松ヶ岡開墾場工事立会い状況



H30.8.20
史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画策定委員会

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
文化財の修理、周辺環境の整備、防災事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・文化財の修理について、所有者及び管理者等と連携し、適切な助言や必要な支援措置を検討し進める。
- ・指定文化財の保存修理にあたっては過去の調査記録などの成果を活用するとともに、有識者、専門家より意見聴取を行い、それらの知見を踏まえた総合的な整備を図る。
- ① 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業
- ② 重要文化財羽黒山正善院黄金堂防災事業
- ③ 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業及び防災事業
- ・文化財の周辺環境は、関係規制、制度の積極的な活用により、文化財の価値や魅力が大きく損なわれないように注意しその保全を図る。また、重点区域においては歴史的風致の維持及び向上を図るための周辺道路の高品質・美装化や無電線化などの整備事業など文化財及びその周囲の景観や環境との調和を図る。
- ・文化財建造物について、所有者及び管理者と連携し自動火災報知設備及び消火器具等の設置を図り、所有者及び地域住民、消防署が一体となった防災訓練の実施に努める。
- ・文化財を展示公開している施設について、防犯に対処するために必要な措置を講ずるよう指導するとともに、常日頃からの防犯・防災への意識の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・史跡松ヶ岡開墾場の保存修理事業を実施した(4番蚕室避雷設備設置)。
- ・重要文化財 旧鶴岡警察署庁舎、旧西田川郡役所及び旧渋谷家住宅の防災施設等整備とし、国庫補助事業により29年度から2ヶ年事業で実施している。
- ・史跡松ヶ岡開墾場脇の北広場駐車場の整備を行い、歩道部分は石貼仕様により歩車分離を明確にし、来場者の安全確保を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡松ヶ岡開墾場内建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、国庫補助金が要望どおり交付にならないため計画が遅れている。引き続き国庫補助事業による実施を求めていく。

状況を示す写真や資料等

○史跡松ヶ岡開墾場 避雷設備工事



史跡松ヶ岡開墾場 4番蚕室三階屋根葺き
避雷設備設置(竣工)

○旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟
防災施設等整備事業



ポンプ室建築工事



自動火災報知設備の更新

○史跡松ヶ岡開墾場 北広場駐車場整備



史跡松ヶ岡開墾場 北広場駐車場



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容

- ・所有者及び管理者と市が連携をとりながら、文化財の保存に努めるとともに、鶴岡の歴史的風致の維持向上のために文化財の公開に努めるなど啓蒙普及を図る。また、特に重点区域においては、案内板整備及び説明板や解説資料の充実も図る。
- ・文化財の存在とその価値について広く理解を得るため、市と文化財所有者・管理者が連携して、文化財の公開に努め、気軽に親しむことができる機会の創出及び市広報やHPを活用し情報発信を行う。
- ・様々な文化財に関わる団体の活動により、近年は、歴史的文化的重要性の再認識やその保護・活用に対する市民の関心は高まりつつあることから、今後は一層、これらの団体への情報提供に努めるとともに相互に連携し、市民の文化財の保存・活用への意識高揚を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・史跡松ヶ岡開墾場北側駐車場に総合案内看板(4ヶ国後)を設置し、解説資料の充実を図った。
- ・文化財防火デーとし、それぞれの文化財で、防火訓練を行っている。
- ・明治維新150年記念事業として、市内に存在する明治維新ゆかりの場所を親子で巡り、歴史と文化について触れる機会を創出した。
- ・文化財施設によるお茶会等が開催され、歴史を伝え、文化財に触れる機会が創出された。
- ・研修・講演・会報の発行などに取り組んでいる文化財愛護協会の活動を支援することで、市民の文化財愛護思想の啓発を推進した。平成30年度は、協会の活動のひとつである、地域愛護会の看板設置(2団体)に補助した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



多言語総合案内看板の設置(史跡松ヶ岡開墾場)



「親子で戊辰の足跡を巡る」(参加者親子10組 23名)

H30.9.22史跡旧致道館



お茶会 H30.4.22-23県丸岡城跡史跡公園



防火訓練(H31.1.26 羽黒山五重塔)



鶴岡市文化財愛護協会 講演会(参加者56名)
H30.5.16 第6CC



鶴岡市文化財愛護協会補助事業
文化財説明看板

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

	評価対象年度	平成30年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
国宝羽黒山五重塔内部を一般公開 出羽三山神社11月まで	H30.5.8	荘内日報
田舞奉納豊作願う 出羽三山神社祈年祭	H30.5.9	山形新聞
絹産業の歴史や魅力紹介 鶴岡市の日本遺産「サムライゆかりのシルク」冊子完成	H30.5.16	荘内日報
名物のフジと弁当楽しむ 旧鶴岡ホテルで花見昼食会	H30.5.16	荘内日報
「化けもの」と心通わす杯 鶴岡天神祭	H30.5.26	山形新聞
天神祭本祭「化けもの」街へ繰り出す 大絵馬型の山車お披露目・点灯 宵祭	H30.5.26	荘内日報
感謝忘れず、厳かに開山祭 鶴岡・湯殿山	H30.6.2	山形新聞
蚕が繭を作るまで飼育 保育園や幼稚園、小学校に体験キット配布	H30.6.7	荘内日報
明治の水色よみがえる 旧鶴岡警察署庁舎修復工事が完了	H30.6.15	山形新聞
絹遺産を活用した地域づくり シルクロード・ネットワーク鶴岡フォーラム 講演や事例発表通じ探る	H30.6.28	荘内日報
夜の羽黒山 幻想的に 五重塔ライトアップ始まる	H30.7.15	山形新聞
縁起物の飾り「こっち来て」 出羽三山神社、花まつり	H30.7.17	山形新聞
大きな声で論議に親しむ 少年少女古典素読教室 致道博物館で早朝素読	H30.8.1	荘内日報
酒井忠勝公の入部など再現 荘内大祭宵祭 歴史絵巻繰り広げる	H30.8.16	荘内日報
迫力の歴史絵巻 鶴岡・荘内大祭本祭	H30.8.16	山形新聞
擬死再生の荒行に挑む 出羽三山神社「秋の峰」	H30.8.28	荘内日報
絹産業新たな動き学ぶ 全国から自治体業界フォーラム シルクガールズがショー	H30.8.30	荘内日報
山伏たちが勇壮に火祭り 出羽三山神社 秋の峰締めくくり「八朔祭」	H30.9.2	荘内日報
自然と歴史に見事な融合 山形交響楽団野外コンサート 出羽三山シンフォニー 観客魅了	H30.9.25	荘内日報
西郷南州の教え 子孫3人が庄内との交流語る	H30.10.2	荘内日報
新たな絹の可能性を探る 鶴岡中央高シルクガールズ工場見学や染染体験	H30.10.2	荘内日報
首都圏からツアー 鶴岡の文化財巡る プレDC	H30.10.27	山形新聞
「鶴ヶ岡城公園」へ提言 鶴岡のシンボル再整備へ勉強会	H30.10.27	荘内日報
地域の財産どう活用 旧小池薬局恵比寿屋本店でシンポ	H30.11.1	山形新聞
旧小池薬局恵比寿屋本店 登録有形文化財に登録	H30.11.11	荘内日報
冬告げるほら貝の音 鶴岡・松の勸進	H30.11.16	山形新聞
シルクの魅力まとい 鶴岡中央高「ガールズ・コレクション」	H30.11.24	山形新聞
伝統の舞い優雅に 出羽三山神社の新宵祭	H30.11.24	山形新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の歴史的風致について広く報道されている。歴史的建造物を会場としたイベントやシンポジウムに関する記事も見られ、これらを通して市民の間で歴史まちづくりが進展していることに関して関心が喚起されていると考えられる。日本遺産に登録された「出羽三山」や「サムライゆかりのシルク」に関する記事も多く見られ、日本遺産登録を契機とした歴史的風致への関心の高まりが表れていると考えられる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成30年度

項目

歴史的風致維持向上計画事業実施の効果

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【鶴岡公園とその周辺地区】

歴まちmeetingは、平成26年度にワークショップに参加した市民が中心となり、歴史的建造物の存在を広く市民に周知し、保存と活用を考えるイベントとしてこれまでに計3回実施。今年度は「旧鶴岡ホテル」を会場として、館内の案内と藤の花を觀賞しながらの昼食会を開催した。約30人が参加し、建造物の歴史や意匠を凝らした内部について説明を受けながら館内を回り、歴史的建造物の利活用を考える機会の創出に繋がった。

【羽黒手向地区】

住民が主体となった各種歴史まちづくり活動が行われている。地区住民ボランティアに景観整備活動「ちょっと一息まちあるきベンチの制作」や、歴史や文化、特に歴史的なまちなみをテーマにした講座、地元高校生による地区の歴史・文化の学習、まちなみ修景整備等の実施(参加者70名)により、景観保全や修景整備に対する誇りや意識の高揚につながった。また、歴史的風致からなる地区固有の魅力を今後のまちづくりに活かすため、住民が話し合いを重ねてまちづくりビジョン(未来像)作りの取組みが進められている。

【羽黒松ヶ岡地区】

・史跡地内東側駐車場と隣接する歩道を整備し、あわせて、歩道に開墾場の史跡指定理由や蚕室内の事業所を説明する総合案内看板を設置し、来訪者の利便性を高めた。

・平成29年度に認定された日本遺産「サムライゆかりのシルク」事業として、1番蚕室1階の展示リニューアル、2番蚕室2階の企画展、松ヶ岡開墾士住宅(新徴屋敷)の改修工事に取組み、受入環境の充実が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



手向宿坊街現地研修

【羽黒手向地区】

- ・手向宿坊街現地研修
平成30年7月12日(木)
- ・胡麻豆腐づくり体験、
- ・まちあるきベンチづくり体験



まちあるきベンチづくり体験



胡麻豆腐づくり体験



【羽黒松ヶ岡地区】
2番蚕室2階の企画展



【鶴岡公園とその周辺地区】
・歴まちmeeting
平成30年5月12日(土)

評価軸⑥-2
その他

評価対象年度 平成30年度

項目

歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市内の学生・町内会等への歴史景観づくりの説明、他自治体からの視察対応、歴史的風致維持向上計画関連会議・サミット等への参加と計画内容説明により、計画の周知を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

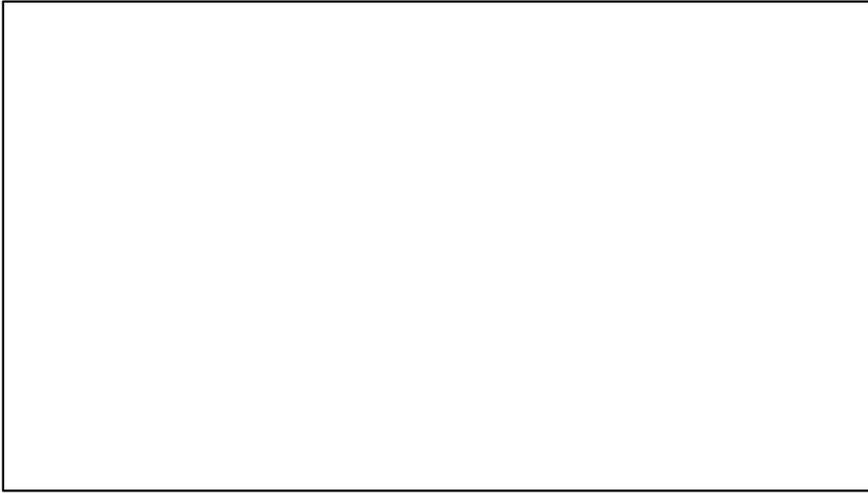
- H30. 5. 17 東北歴史まちづくりサミットin多賀城
対象者：東北地域の歴史まちづくり所管課、まちづくり関係者 280名
- H30. 5. 25 仙台市立仙台青陵中等教育学校調査訪問
対象者：第2学年生徒 5名
- H30. 7. 19 千葉県東金市議会視察
対象者：東金市議会議員 2名
- H30. 9. 4 門前町手向地区歴史的景観ガイド育成
対象者：手向地区住民 8名
- H30. 10. 25~26 歴史的景観都市協議会
対象者：全国の歴史まちづくり所管課、まちづくり関係者 111名
- H31. 1. 31 愛知県岡崎市議会視察
対象者：岡崎市議会議員 3名



平成30年5月17日
東北歴史まちづくりサミット
の様子



平成31年1月31日
視察対応の様子

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 鶴岡市鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 平成31年2月18日(月)14:00~	
(コメントの概要) 【会議結果】 ・平成30年度事業についての評価報告の承認 ・平成31年度事業計画の承認 ・計画の変更についての承認 【主なコメント】	
	
第7回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会 (H31.2.18 鶴岡市勤労者会館大ホール)	
(今後の対応方針)	